

平田村公共施設等総合管理計画

個別施設計画

(教育施設編)

策定 令和元年12月23日

改正 令和3年12月6日

改正 令和6年3月26日

改正 令和8年2月17日

第1章 概要

(1) 目的

公共施設マネジメントを推進するためには、今まで行ってきた所管課が管理している施設だけを対象にした維持修繕計画等に基づく維持管理・運営では不十分であり、村が所有する全施設を対象に公共施設の質と量の最適化や長寿命化を推し進めることが大切です。所管課を越えた公共施設マネジメントの実現と、全庁的な取り組みに基づく個別施設のマネジメントを促すことを目的に、平田村公共施設個別施設計画（教育施設編）（以下、「本計画」という。）を策定します。

本計画は、建物系公共施設の簡易劣化調査、所管課への施設の利用状況等のヒアリング結果、ライフサイクルコストの算出結果等を基に、質と量の最適化を目指す公共施設マネジメントを推進するため、具体的に適正化する施設、長寿命化する施設を抽出し、今後の方向性を示すものです。

(2) 対象施設

本計画は、「平田村公共施設等総合管理計画」に定める「教育施設」の施設類型の全ての施設を対象とします。

(3) 計画の期間

本計画では、多くの公共施設の余寿命が20～30年であることを踏まえ、中長期的な視点が不可欠なため、公共施設等総合管理計画の計画期間と同様に計画の期間を令和元年度（2019年度）から令和28年度（2046年度）までの28年間とします。

平田村公共施設等総合管理計画が30年周期で更新することに対して、下位計画として、本計画は、10年に1度の周期で更新します。

(4) 計画の進行管理

今後は、本計画に基づき、PDCAサイクルにより進捗状況を管理し、施設の見直しや計画的な改修等に努めていきます。

第2章 公共施設等の現況及び将来の見込み

(2) 保有資産の状況

① 施設一覧

No.	施設名称	行政区	所有区分	建築年度	経過年数	建物構造	延床面積(m ²)	耐震	備考
1	蓬田小学校	上蓬田	村有	1997	20	RC造/CB造/SL造/W造	4530.43	○	
2	小平小学校	下北方	村有	2004	13	RC造/CB造/S造/SL造/W造	4111.29	○	
3	旧蓬田中学校	上蓬田	村有	1981	36	RC造/CB造/SL造	4269.46	△	
4	旧小平中学校	下北方	村有	1982	35	RC造/CB造/SL造	3879.72	△	
5	平田村学校給食センター	永田	村有	1993	24	RC造/CB造/S造/W造	602.24	—	
6	蓬田こども園(旧幼稚園)	上蓬田	村有	1988	29	W造	324.81	—	
7	蓬田こども園(旧保育所)	上蓬田	村有	1970	47	W造/SL造	595.33	×	除却済
8	小平こども園(旧幼稚園)	小平	村有	1985	32	W造	441.04	—	除却済
9	小平こども園(旧保育所)	小平	村有	1970	47	W造/SL造/CB造	540.33	×	除却済
10	ひらた清風中学校	永田	村有	2017	0	RC造/S造	6752.25	—	

(注) 小平こども園(旧幼稚園及び旧保育所)は令和3年度に除却を実施。

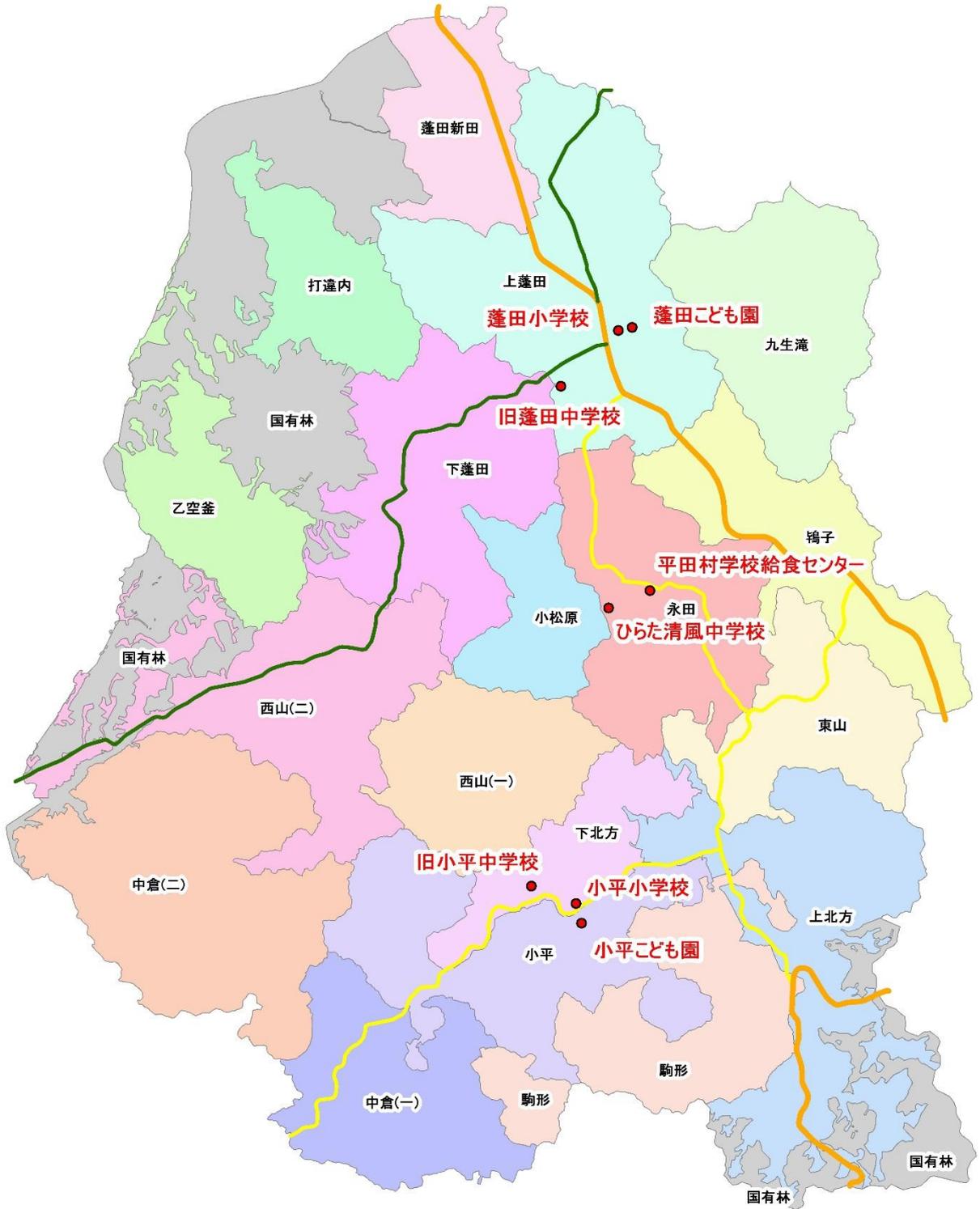
(注) 蓬田こども園(旧保育所)は令和5年度に除却を実施。

(注) 令和2年度に蓬田こども園と小平こども園を統合し、ひらたこども園を開所。

【凡例】

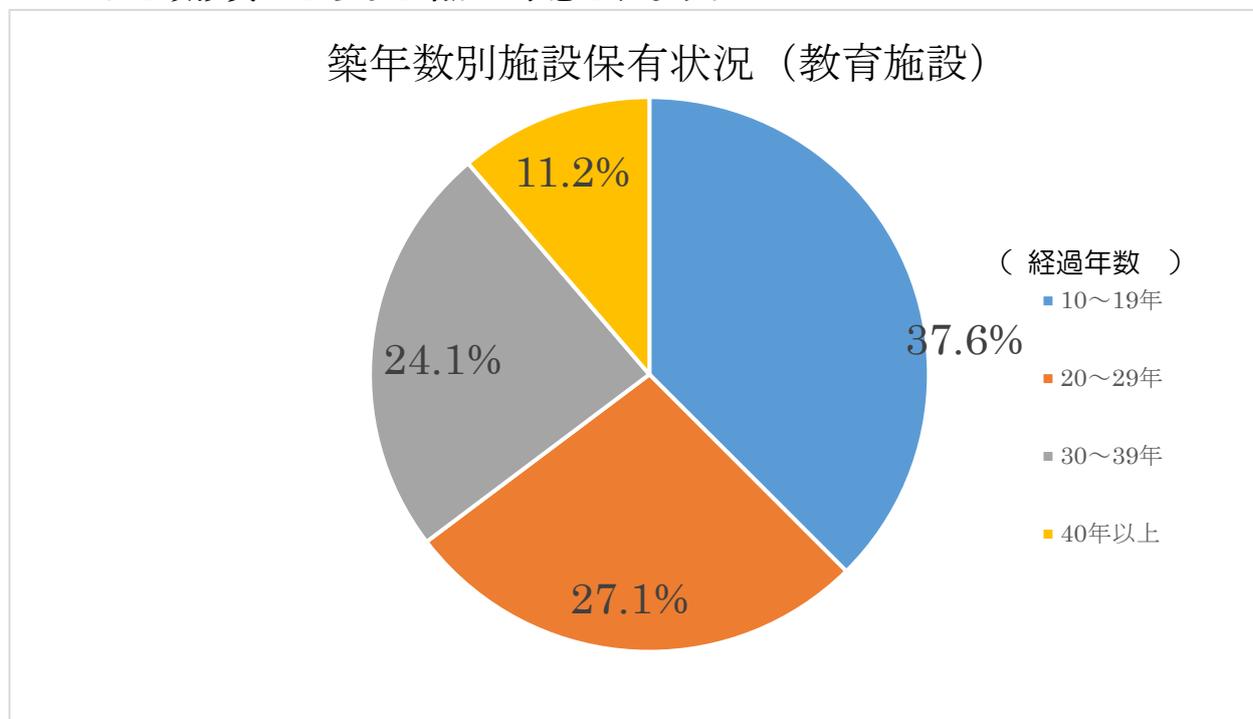
建築年月	複数の棟がある場合は、主体となる建物の建築年月を表示
経過年数	平成30年3月末現在経過年数
構造	RC：鉄筋コンクリート造 SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造 S・SL：鉄骨造 W：木造 CB：コンクリートブロック PC：プレキャストコンクリート造
耐震	○：施設の耐久化対策の全ての棟が対応済み △：施設の耐震化対策のうち一部が対応済み ×：未対応 —：耐震化対象となる棟がない施設(昭和56年6月以降に設計された建物)

②施設配置図



(2) 老朽化の状況

約6割の施設が築20年以上であり、施設の老朽化が進んでいます。今後老朽化による改修費のさらなる増加が予想されます。



(注1) 棟単位で算出し、施設単位ではありません。

(注2) 2018年3月末時点

(3) 利用状況・利用見込み

現在施設の利用者増減率は、一部の施設を除き減少傾向にあります。
また、利用見込み（利用圏域内の人口推計）は、下記のとおりです。

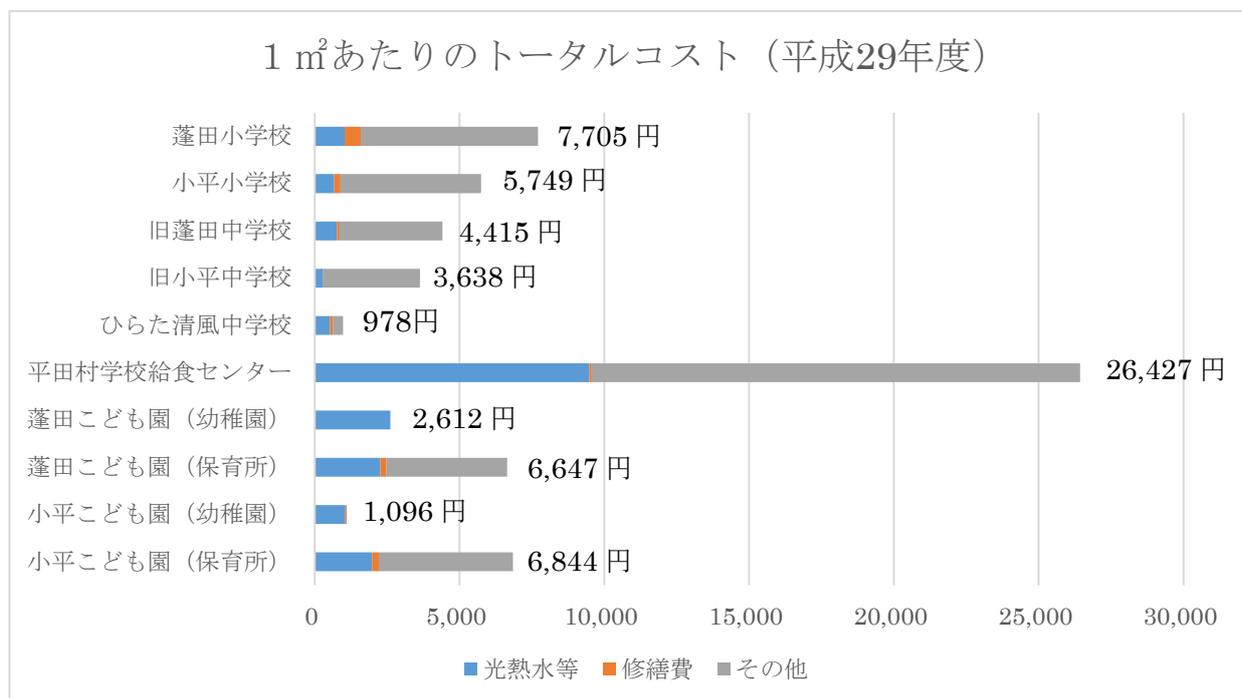
No.	施設名称	利用圏域	利用状況 (施設利用者数)			利用見込増減	備考
			H26	H29	増減率		
1	蓬田小学校	蓬田地区	233	206	88.4%	-30%	
2	小平小学校	小平地区	141	122	86.5%	-30%	
3	旧蓬田中学校	蓬田地区	121	-	-	-	
4	旧小平中学校	小平地区	96	-	-	-	
5	ひらた清風中学校	平田村全域	-	186	85.7%	-30%	
6	平田村学校給食センター	平田村全域					
7	蓬田こども園 (旧幼稚園)	蓬田地区	20	140	117.6%	-30%	
8	蓬田こども園 (旧保育所)	蓬田地区	99				
9	小平こども園 (旧幼稚園)	小平地区	20	77	110%	-30%	
10	小平こども園 (旧保育所)	小平地区	50				

(注1) 利用見込は2018年3月31日時点の現住人口(6,140人)と2040年の人口推計(4,297人)の比較である。

(注2) 中学校利用状況について、H28年度に統合したため、旧中学校2校の利用状況はH26のみで、ひらた清風中学校の利用状況はH29のみとなっている。増減率については、旧中学校の合計値とひらた清風中学校の数値の増減率である。

(注3) H27からこども園開園に伴い、H26の利用状況については、旧幼稚園、旧保育所ごとの利用者数を表示している。

(4) トータルコスト



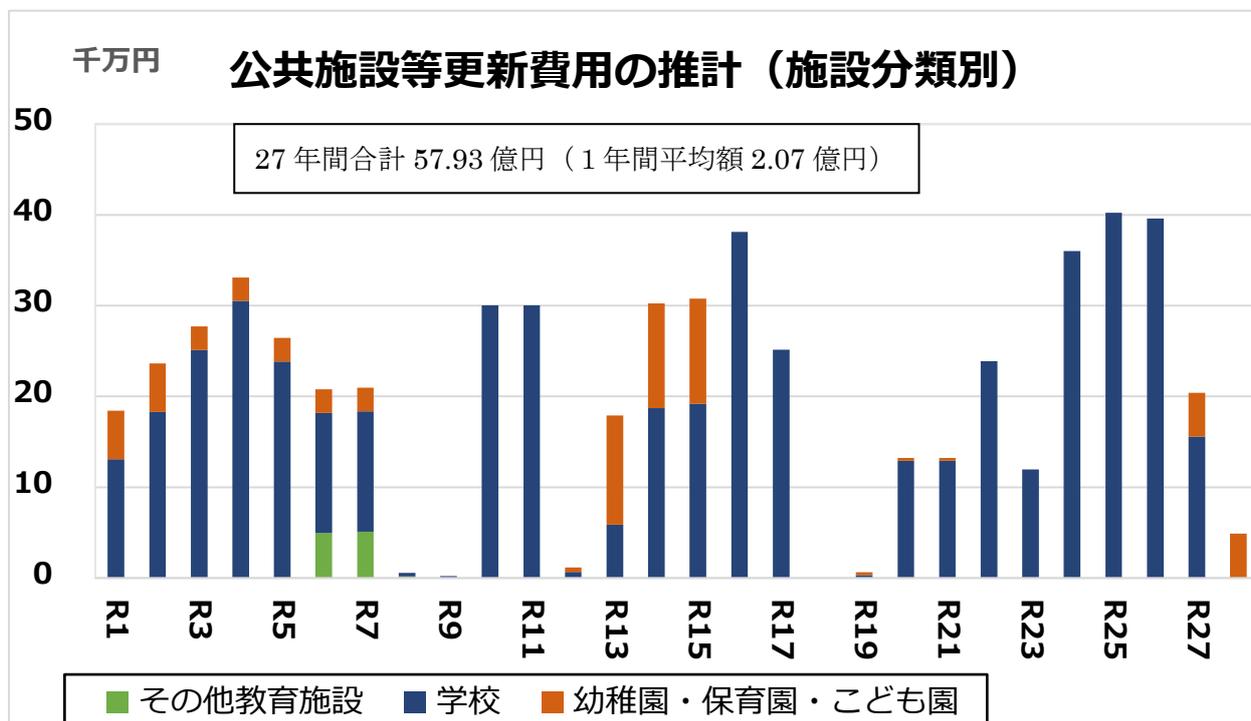
(注) トータルコストは、建物等の管理・運営に要する経費で、人件費、光熱水費、修繕費（維持補修以外の建築工事費を含まない）、減価償却費、その他の経費の合計額。

なお、人件費は、平成29年度決算における職種ごとの1人あたりの平均額を使用

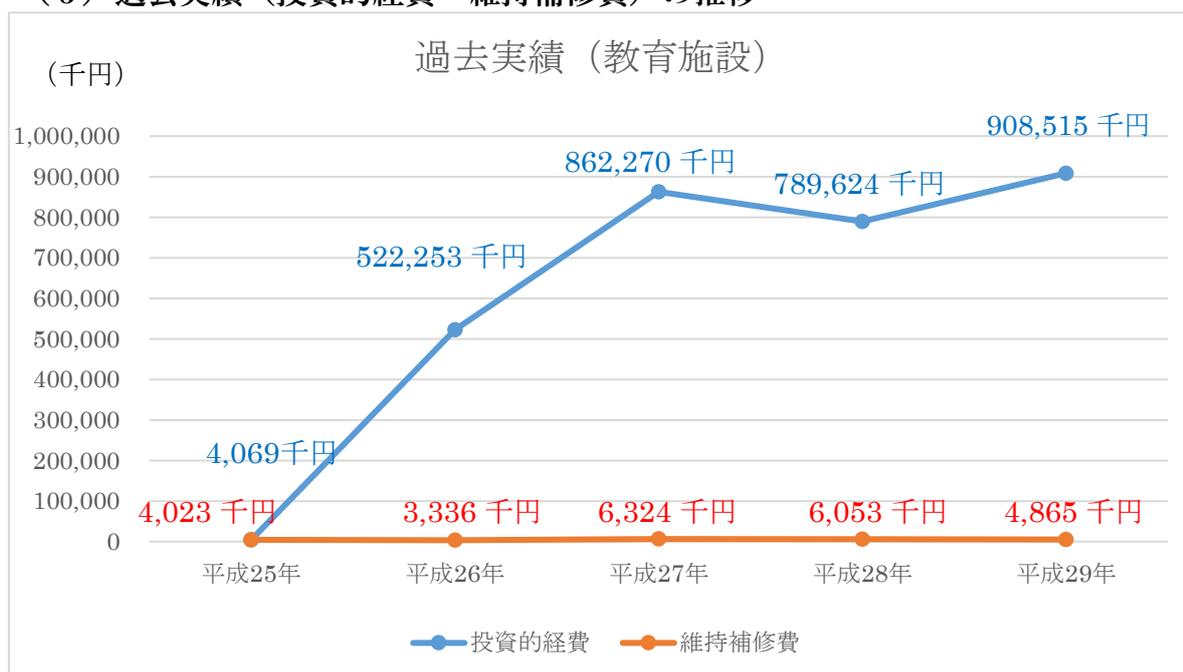
(正職員： 5,416 千円/人、嘱託職員：2,433 千円/人、臨時職員：2029 千円/人)

(5) 更新費用の推計

公共施設等総合管理策定時点の学校施設を現状のまま維持し続ける場合に必要
な更新費用は、27年間の合計で約57.93億円となる見込みである。



(6) 過去実績（投資的経費・維持補修費）の推移



(注1) 災害復旧費を含まない。

(注2) 投資的経費は、各施設に関連する予算科目の細々目事業の工事請負費（単独事業費・補助事業費）、維持補修費は工事請負費（維持補修）・修繕費を集計

第3章 施設類型別マネジメント方針

(1) 施設の役割

学校施設は、児童・生徒等がともに学び、ともに育み、どの子も思う存分学べる学習・生活の場として、一日の大半を過ごす学校教育活動を行なうための基本となる施設であります。

また、地震等の災害発生時には地域住民の応急避難場所としての役割を担う施設であるとともに、スポーツをはじめとする地域活動、コミュニティの拠点となる施設でもあります。

(2) 現状と課題

- ① 今後存続していく施設の老朽化対策を含めた施設の長寿命化や少子化・人口減少等による学校の統廃合、適正配置等の最適化について検討が必要です。
- ② 学校施設の統合による、廃校の有効な活用方法について検討していくことが必要です。

(3) 今後の施設あり方

平成28年に村内の中学校2校を統合し、令和2年度にこども園2園の統合が完了しました。

今後、小学校2校の統合や、統合により使用しなくなった施設の有効な活用方法について検討していくことが必要です。

検討にあたっては、公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設等の総資産の適正化、公共施設等の長寿命化、公共施設の有効活用に取り組みます。

① 公共施設等の総資産の適正化

公共施設のあり方や必要性を村民のニーズや政策適合性、費用対効果などから総合的な評価を行い、適正な公共施設の保有量を実現します。

公共施設の廃止、複合化、集約化、用途変更するなど総資産の維持・縮減に取り組み、廃止に伴う施設の跡地については、売却も含め検討します。老朽化し破損等で利用できなくなった施設は、周囲の環境、治安に影響を与えないように取壊しも含め検討します。

② 公共施設等の長寿命化

公共施設の耐震化をすすめ、長期的な点検・修繕等の保全計画を策定し、施設性能の維持・向上に努めることで、健全な状態を維持しながら長寿命化を図ります。

ライフサイクルコストを縮減し、更新時期の集中化を避けることによって、歳出予算の平準化を図ります。

③ 公共施設の有効活用

公共施設の集約化・廃止等により未利用となった施設や利用見込みのない土地などの資産は、売却や民間等への貸付等を検討し、歳入の確保を図るとともに、地域特性に配慮した機能分担なども検討していきます。

(4) 個別施設方針・検討開始年度

ここで示す方針は、施設の最適化の検討にあたり、施設の建物・サービスの現状分析を踏まえ、個々の施設の長期的な検討の方向性を示します。

具体的実施方法については、検討開始年度が到来した際に、あらためて詳細な現況分析を行うとともに、住民や利用者との意見交換を踏まえ、検討していきます。

個別計画策定時

施設仕分(評価)

前段階として、サービスの種類について一律に仕分けします。

村以外でもサービス提供が可能

専用の建物または部屋が必要

他施設に類似用途の部屋あり
または独立施設の必要なし

A 民間活用

B 多機能化

C 集約化
・複合化

D 継続

現況分析

施設の「建物」と「サービス」の視点から、採用し、現状把握を行います。

【建物】

- ・主体建物の老朽化状況
(築年数、改修の有無)
- ・耐震性能の有無

比較的良い状態 → I
老朽化が進行している状態 → II

【サービス】

- ・類似施設間での利用状況比較
 - ・過去の利用状況傾向
(施設稼働率、利用者数など)
- 将来利用見込
(利用圏域や地域別人口推計など)

利用状況が良い → I
利用状況に課題がある → II

検討開始時期の設定

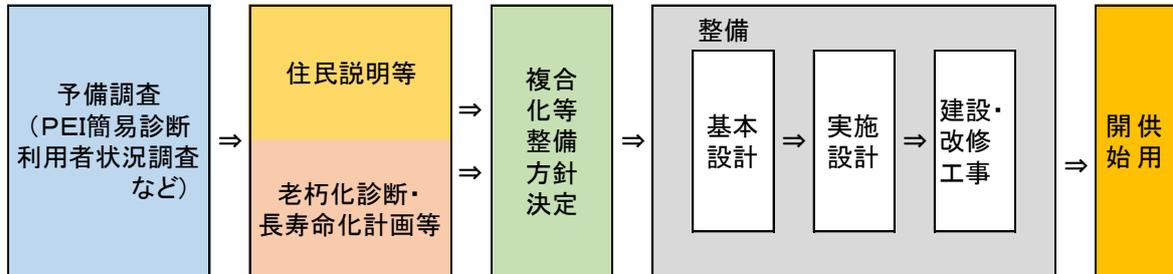
当該施設又は近隣施設の改修・建替時期や指定期間終了などの時期に合わせ設定



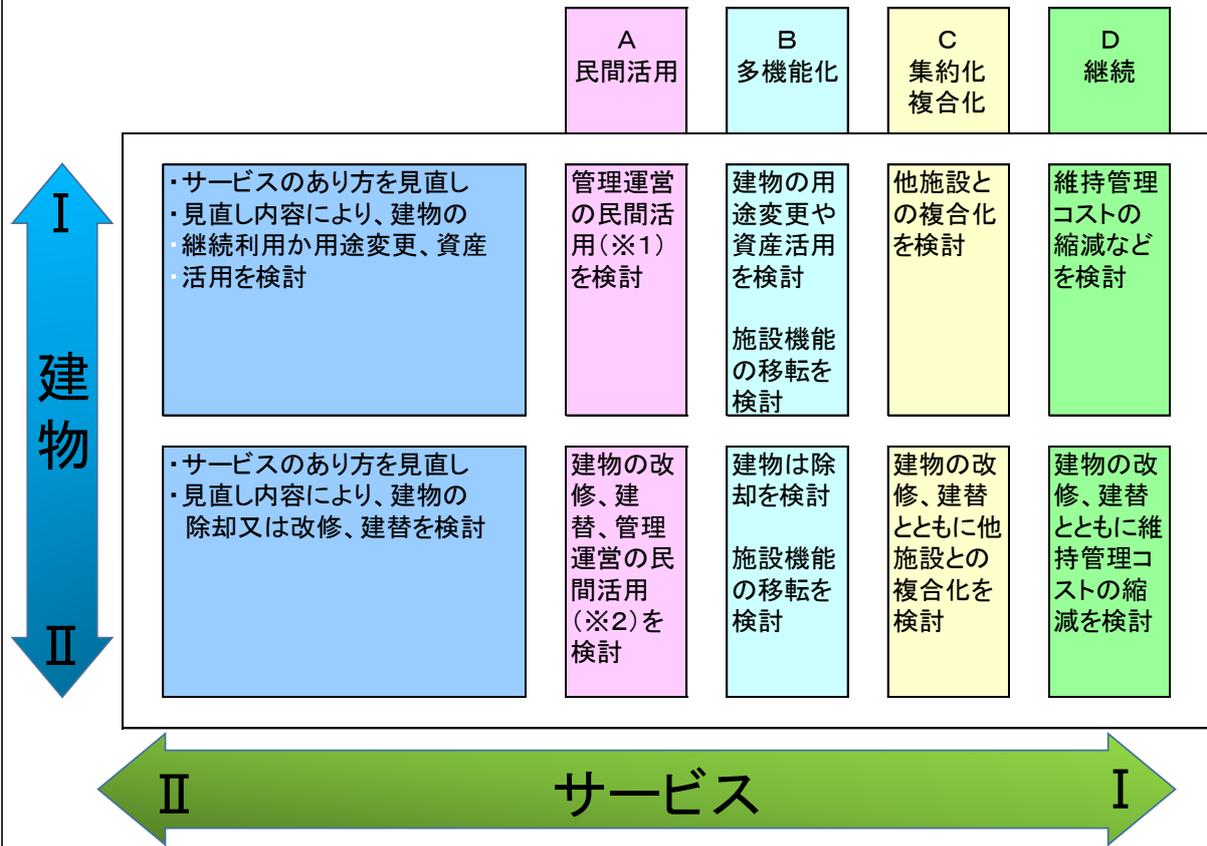
検討開始時期到来後

最新の現況分析や必要な点検診断を行い、住民や利用者とともに、具体的の方針を検討

(具体的な検討・整備の流れ)



(方針検討のイメージ)



※1 業務委託、包括委託、指定管理者制度、民営化など

※2 ※1のほか、デザインビルド（民間事業者に設計、建設を一括して発注する方式）PFIを含む

【個別施設方針】

No	施設名称	利用 圏域	施設 所管課	現状分析		評価	検討の方向性	検討 開始 年度
				建 物	サ ー ビ ス			
1	蓬田小学 校	蓬田	教育課	II	I	C：集約化・ 複合化	少子化・人口減少等による小 平小学校との集約化を検討	2021
2	小平小学 校	小平	教育課	I	I	C：集約化・ 複合化	少子化・人口減少等による蓬 田小学校との集約化を検討	2021
3	旧蓬田中 学校	蓬田	教育課	II	II	B：多機能	周辺地域における将来計画と の連動により、利活用及び一 部施設の除却を検討	2019
4	旧小平中 学校	小平	教育課	I	II	B：多機能	周辺地域における将来計画と の連動により、利活用及び一 部施設の除却を検討	2019
5	ひらた清 風中学校	全域	教育課	I	I	D：継続	維持管理コストの縮減などを 検討 村内小学校との施設および設 備の集約化を検討	2019
6	平田村学 校給食セ ンター	全域	教育課	I	I	C：集約化・ 複合化 D：継続	維持管理コストの縮減などを 検討 建物及び施設の改修を予定 小学校との集約化を検討	2019
7	蓬田こど も園 (旧幼稚 園)	蓬田	教育課	II	II	B：多機能 C：集約化・ 複合化	令和2年度に小平こども園と 統合を完了 他の利用方法を検討 他の利用方法なければ除却	2019
8	蓬田こど も園 (旧保育 所)	蓬田	教育課	II	II	B：多機能 C：集約化・ 複合化	令和2年度に小平こども園と 統合を完了 建物については令和5年度に 除却済	2019
9	小平こど も園 (旧幼稚 園)	小平	教育課	II	II	B：多機能 C：集約化・ 複合化	令和2年度に蓬田こども園と 統合を完了 建物については令和3年度に 除却済	2019
10	小平こど も園	小平	教育課	II	II	B：多機能 C：集約化・ 複合化	令和2年度に蓬田こども園と 統合を完了	2019

	(旧保育所)						建物については令和3年度に除却済	
1 1	ひらたこ ども園	全域	教育課	I	I	D:継続	維持管理コストの縮減などを検討	